

一宮温泉病院 院内感染対策基本方針

当院では、院内感染を防止するために医師・看護師・検査技師・薬剤師管理栄養士等の多職種で構成する「院内感染予防対策委員会」を組織しております。また院内感染対策に関する実働的組織として感染防止対策チーム(ICT)を設置しております。

患者様をはじめ、当院を利用されるすべての方々、職員を院内感染から守るため日々活動しております。

院内感染対策についての基本的な考え方

- 1 感染対策は、患者の安全を守るためのものであり、患者を危険にさらさないための最重要課題のひとつとして職員が組織的に取り組む。
- 2 感染対策は、医療従事者自身の健康を守るためにも重要である。職員が安心して働ける環境を創出する。
- 3 感染症発生時は、感染対策に対する正しい知識と情報を共有し、原因の特定・制圧・終息を図り、指針に即した医療の提供をする。

主な活動内容

- 1 定期的な委員会開催
(感染症症例検討・耐性菌検出状況把握・抗菌薬使用状況把握)
- 2 定期的な院内ラウンド(感染対策状況チェック・実地指導)
- 3 サーベイランス
- 4 職業感染防止対策(ワクチン接種・針刺し防止)
- 5 職員教育
- 6 適正な抗菌薬使用の推進
- 7 地域の医療機関(峡東地域連携感染管理合同カンファレンス)との連携